



2022年3月期決算説明会

2022年5月17日
京成電鉄株式会社

1. 2022年3月期 連結決算

2. 長期経営計画「Eプラン」総括

3. 2023年3月期 連結業績予想

4. 参考資料

1-1. 業績概要 [損益計算書]

新型コロナウイルス感染症による影響は残るものの、前年と比べ増収となり、収支が改善

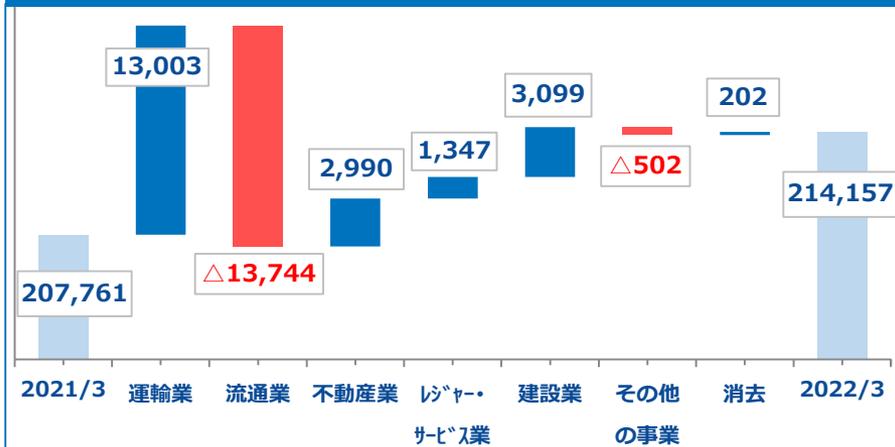
■ 連結損益計算書 (前年比)

単位：百万円、%	2022/3 実績	2021/3 実績	増減	率
営業収益	214,157	207,761	6,396	3.1
営業利益	△5,201	△18,056	12,855	-
(営業利益率)	-	-	-	-
経常利益	△3,191	△32,165	28,973	-
持分法投資損益	508	△16,993	17,502	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	△4,438	△30,289	25,851	-
減価償却費	30,483	30,221	261	0.9

(注)「収益認識に関する会計基準」適用により、営業収益172億円減

■ 営業収益増減 (セグメント別)

(単位：百万円)



■ 営業利益増減 (セグメント別)

(単位：百万円)



1-2. 業績概要 [連結貸借対照表/連結キャッシュ・フロー計算書]

営業CFが改善、投資CFは新規賃貸物件取得等により支出増

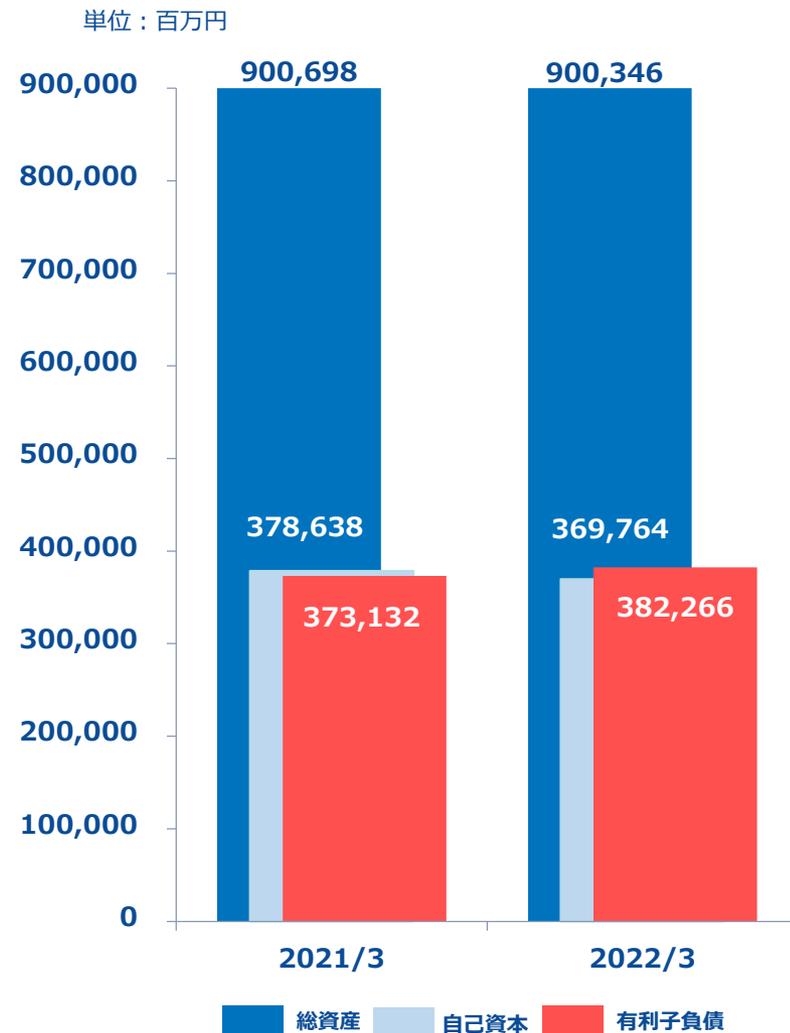
■ 連結貸借対照表 (前年比)

単位：百万円、%	2022/3 実績	2021/3 実績	増減
総資産	900,346	900,698	△351
有利子負債残高 ※	382,266	373,132	9,134
純資産	387,705	396,044	△8,339
自己資本	369,764	378,638	△8,874
自己資本比率	41.1	42.0	△0.9pt

※有利子負債残高にはリース債務を含む

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (前年比)

単位：百万円	2022/3 実績	2021/3 実績	増減
営業CF	28,831	9,282	19,548
投資CF	△33,764	△28,678	△5,086
(フリーCF)	△4,933	△19,395	14,461
財務CF	1,236	21,498	△20,262
現金及び 現金同等物の増減額	△3,697	2,103	△5,800



1-3. 営業収益（2022年3月期 セグメント別業績）

流通業(「収益認識に関する会計基準」影響△171億円)、その他の事業を除き増収

単位：百万円、%	2022/3 実績	2021/3 実績	増減	率
営業収益	214,157	207,761	6,396	3.1
運輸業	117,645	104,642	13,003	12.4
鉄道事業	55,256	49,627	5,628	11.3
バス事業	39,005	33,546	5,458	16.3
タクシー事業	23,384	21,467	1,917	8.9
流通業	47,441	61,185	△13,744	△22.5
不動産業	27,420	24,429	2,990	12.2
レジャー・サービス業	8,063	6,716	1,347	20.1
建設業	26,452	23,353	3,099	13.3
その他の事業	7,861	8,364	△502	△6.0

1-4. 営業利益（2022年3月期 セグメント別業績）

増収に伴い、運輸業において大幅な収支改善

単位：百万円、%	2022/3 実績	2021/3 実績	増減	率
営業利益	△5,201	△18,056	12,855	-
運輸業	△12,735	△25,677	12,941	-
鉄道事業	△7,189	△11,985	4,795	-
バス事業	△4,038	△10,003	5,965	-
タクシー事業	△1,508	△3,688	2,180	-
流通業	△305	△188	△117	-
不動産業	8,737	8,492	245	2.9
レジャー・サービス業	△1,966	△2,063	96	-
建設業	789	1,166	△377	△32.3
その他の事業	340	245	94	38.7

1. 2022年3月期 連結決算
- 2. 長期経営計画「Eプラン」総括**
3. 2023年3月期 連結業績予想
4. 参考資料

グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

長期経営計画「EVOLUTION PLAN」 (= Eプラン) 〔2010年度～2021年度 12か年〕

E1プラン (2010～2012年度)	E2プラン (2013～2015年度)	E3プラン (2016～2018年度)	E4プラン (2019～2021年度)
------------------------	------------------------	------------------------	------------------------

■ 長期経営ビジョン

グループ事業の中核である交通運輸事業の競争力・収益力を更に強化すると共に、千葉県北西部（特に京成線・新京成線・北総線沿線）並びに東京都東部を地盤として地域に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充する。

■ 最終年度（2021年度）数値目標

営業収益
2,800億円以上

営業利益率
10%以上

有利子負債残高
3,500億円以下
(EBITDA倍率 7倍以下)

経営理念

長期経営計画
「EVOLUTION PLAN」

中期経営計画
(3か年計画)

■インバウンド需要増加を確実に捉え、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充

■ 長期経営ビジョンの達成状況

▶ 鉄道事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2010年7月に成田スカイアクセスを開業 ✓ インバウンド需要の増加とともに収益拡大
▶ バス事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ エアポートバス東京・成田等、高速バス路線の積極的展開による収益力増
▶ タクシー事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 三信交通(株)、大森交通(株)等のM&Aによる事業拡大 ✓ 千葉県・茨城県内のタクシー事業再編による競争力強化
▶ 流通業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 業務スーパー・移動スーパーとくし丸等、新業態の展開 ✓ コンビニエンスストア出店数を62店舗まで拡大 ✓ 水戸京成百貨店がアンテナショップ運営開始・サテライトショップ新規出店
▶ 不動産業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 収益賃貸物件の開発・取得を積極的に実施 ✓ 12年間で売上91億円増
▶ 建設業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 式田建設工業(株)のM&Aによる事業拡大
▶ ホテル業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新ブランド「京成リッチモンドホテル」3店開業
▶ その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 関東鉄道(株)の連結子会社化

2-3. E4プランの振り返り（数値目標）

■ 2019年度末より新型コロナウイルスの影響を受け、数値目標未達

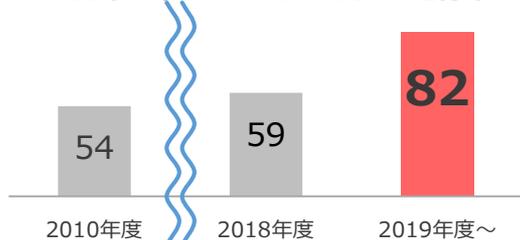
	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	E4プラン 目標
営業収益	2,748億円	2,078億円	2,142億円	2,900億円以上
（新型コロナウイルスによる影響）	(△58億円)	(△850億円)	(△679億円)	-
（「収益認識に関する会計基準」適用による影響）	-	-	(△172億円)	-
営業損益	283億円	△181億円	△ 52億円	330億円以上
営業利益率	10.3%	-	-	11.3%以上
有利子負債残高	3,423億円	3,731億円	3,823億円	上限3,200億円
EBITDA倍率	6.0倍	31.6倍	15.4倍	上限5.1倍

2-4. E4プランの取り組み (運輸業)

■ 空港アクセスの利便性・魅力向上

- ・スカイライナー増便 (2019年度)
 - スカイライナー増備(8→9編成)により1日当たりの運行本数が1.4倍に増
 - スカイライナー終日20分間隔運行の実現
※一部、異なる時間帯あり

1日あたりのスカイライナー運行本数



- ・スカイライナー青砥駅停車による押上・都営浅草線・京急線方面からのアクセス利便性向上 (2020年度)

- ・深夜時間帯におけるスカイライナー運転間隔を30分に統一し、LCC深夜到着便利用者の利便性向上 (2022年2月)
- ・人気タレントを起用したスカイライナーPR
 - 新テレビCM「お客様は、お姫様。」発表(2019年度)
 - 「プリンセスに知ってもらいたい!スカイライナーと京成王子展」の開催 (2020年度)
 - 特別装飾スカイライナー運行 (2021年7月)



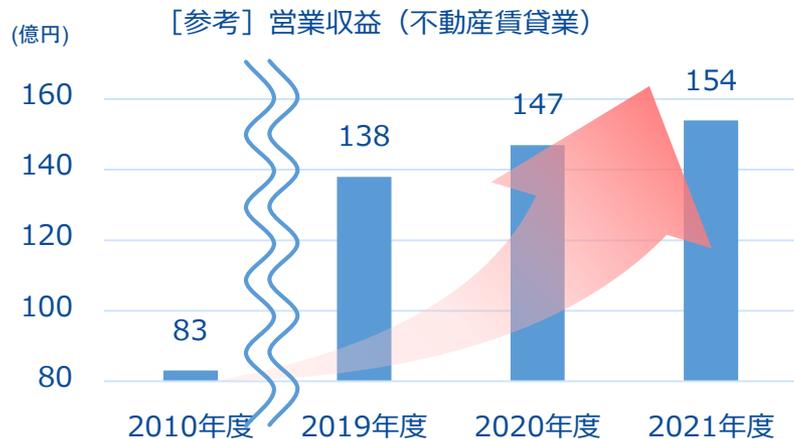
展示の様子

- ・成田空港駅・空港第2ビル駅リニューアル (2019年度)
- ・成田空港利用者の中長期的な増加を見据え成田スカイアクセスの設備改良、車両基地の機能強化等に向けた検討を継続

2-4. E4プランの取り組み（不動産業）

■ 収益賃貸物件の開発・取得

- 安定収益が得られる収益物件の開発・取得により不動産賃貸業の収益拡大



SRビル市川



スカイグランデ
京成小岩



スカイグランデ
船橋宮本

■ 分譲マンションの販売



サングランデ本八幡



サングランデ立石

[参考]販売物件（E4プラン期間中）

サングランデ津田沼	全81戸・完売
サングランデ本八幡	全25戸・完売
サングランデ八王子	全56戸・完売
サングランデ立石	全35戸・完売
パークホームズ千葉	全253戸・販売中

■ 事業基盤の強化

- 開発事業を本部組織に改編（2021年10月）
- 沿線開発担当の新設（2021年10月）

■ 千葉中央エリアの活性化

- ・「京成千葉中央ビル」の開業 (2021年10月)
 - 商業・オフィス・ホテルからなる8階建て複合施設



外観



京成ホテルミラマーレ アネックス客室



リブレ京成千葉中央店
(スーパーマーケット)



KEISEI x BIZcomfort
千葉中央(シェアオフィス)

フロアガイド

7 ~ 8 階	・京成ホテルミラマーレ アネックス (客室数66)
4 ~ 6 階	・オフィス
3 階	・KEISEI x BIZcomfort (シェアオフィス) ・京成不動産 千葉センター ・ゴルフスクール ・医療モール
2 階	・100円ショップ
1 階	・リブレ京成 (スーパーマーケット) ・ファミリーマート ・整体サロン

- ・「千葉中央ショッピングセンター Mio」の
 リニューアルオープン (2021年9月)

■ ホテル事業の拡充

- ・京成リッチモンドホテル 東京錦糸町・東京押上の開業



東京錦糸町(2021年12月開業)



東京押上(2022年3月開業)

■ CSR活動の推進

- ・ドンナド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンとチャリティライナーを開催(計3回)



ハロウィーンチャリティライナーでの記念撮影(2021年10月)

■ 生活サービス事業の拡充

- ・既存業態の新店舗開業
 - リブレ京成 2店舗開業 (計20店舗)
 - コンビニエンスストア 12店舗開業 (計62店舗)
- ・新業態の展開
 - 業務スーパー 3店舗開業
 - 移動スーパー リブレ京成とくし丸 6台運行開始



業務スーパー 東初富店
(3店舗目/2020年度開業)



リブレ京成とくし丸6号車
(2021年11月運行開始)

■ コーポレート・ガバナンスの強化

- ・関東鉄道(株)の連結子会社化 (2019年度)
- ・社外取締役増員(2名→4名) (2019年度、2020年度)
- ・女性取締役の選任 (2020年度)
- ・執行役員制度の導入 (2021年10月)

2-4. E4プランの取り組み（地域社会との共生）

■ UR都市機構との連携

- ・ 包括協定締結（2021年6月）
 - UR賃貸住宅ストックの活用・再生等や各種施策への取組を行い、地域の価値創造に資することを目的とする
- ・ 活性化イベントの実施
 - 米本団地(千葉県八千代市/2021年5月)、袖ヶ浦団地(千葉県習志野市/2021年11月)



イベントの様子

■ 自治体との連携



葛飾区との包括協定締結式（2021年12月） 酒々井町教育委員会と連携した車両基地見学会(2021年5月)

■ 教育機関との連携



東京藝術大学と連携した京成電鉄芸術賞(2019年度創設) 2021年度授賞作品



実施協力した千葉工業大学の授業の様子(2019年度)

[参考] E4プラン中の包括協定締結先

自治体	2021年3月	千葉県八千代市
	2021年8月	千葉県酒々井町
	2021年12月	東京都葛飾区
教育機関	2020年8月	大学コンソーシアム市川 産官学連携プラットフォーム
	2021年2月	千葉工業大学
その他	2021年6月	UR都市機構

■ 「アルティアリー千葉」パートナーシップ参画

- ・ プロバスケットボールチーム「アルティアリー千葉」を運営する(株)アルティアリーとスポンサー契約締結（2021年6月）

2-5. 戦略投資について

- E3プランより、中長期的な収益拡大に向けた戦略投資枠を設定
- 「第2の柱」である不動産賃貸業に注力

■ 使途内訳 (E3・E4合計)

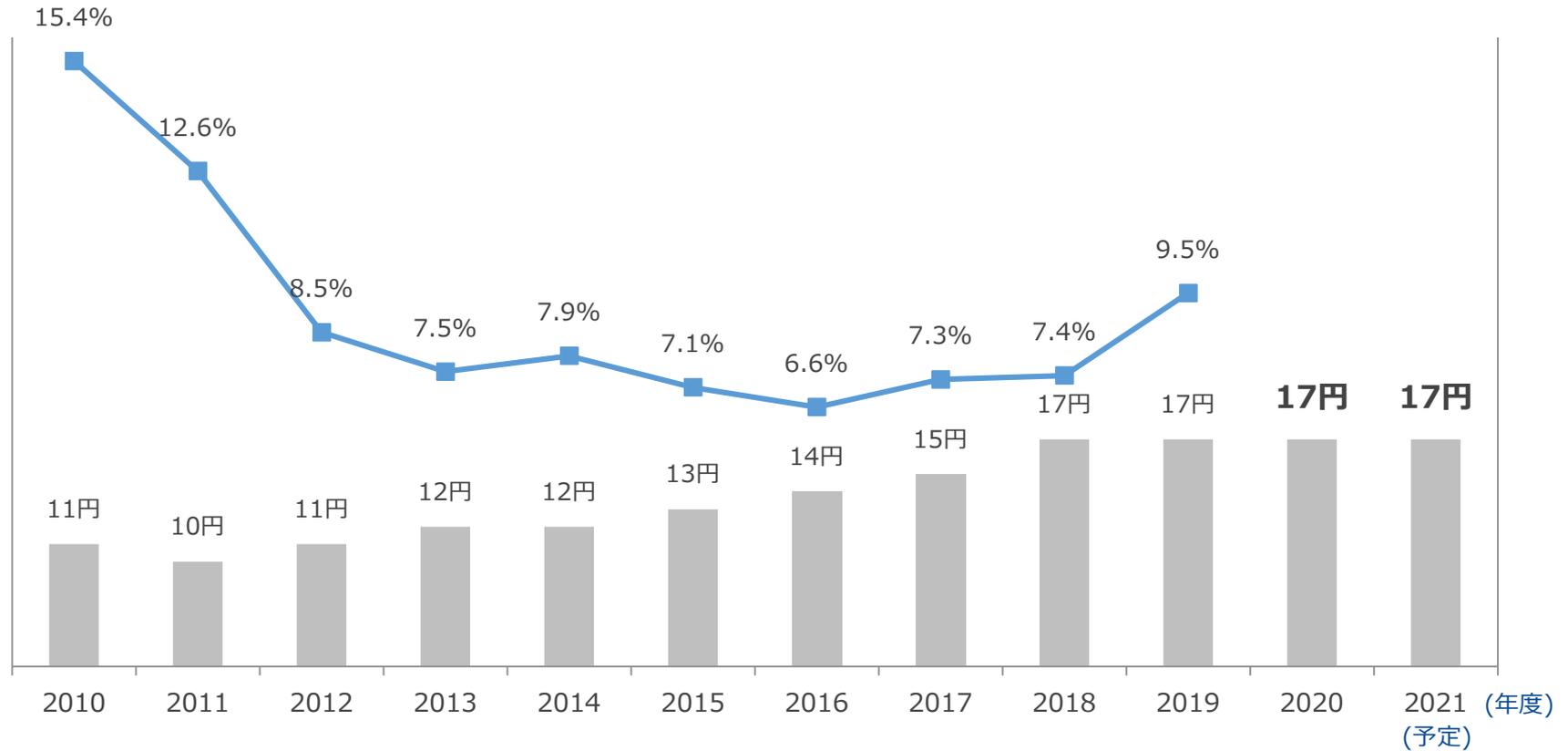


■ 具体的案件 (主なもの)

収益賃貸物件	<ul style="list-style-type: none"> ■ 三菱ふそうトラック・バス(株) 整備・営業拠点(18か所) 取得 ■ 京成リッチモンドホテル 3店開業 ■ 京成千葉中央ビル 建替 ■ SRビル市川・京成東上野ビル・水戸京成ビル・スカイグランデ京成小岩・スカイグランデ船橋宮本 取得
サービス・安全性向上	<ul style="list-style-type: none"> ■ 京成上野駅リニューアル ■ スカイライナー1編成増備 ■ 宗吾車両基地の拡充に向けた用地買収
M&A・TOB 会社設立	<ul style="list-style-type: none"> ■ 三信交通(株)・大森交通(株)・式田建設工業(株) M&A ■ 関東鉄道(株) TOB

■ 2021年度も安定的かつ継続的な配当を実施

連結配当性向および1株当たり配当金（年間）の推移



2-7. 新長期経営計画について

- 2021年度で終了したEプランに続く新長期経営計画は、外部環境を見極め策定し公表予定



■ 方向性

- 復調する移動需要の確実な獲得
- 地域社会との共生による持続可能な事業成長
- 成田空港機能強化への対応 等

2-8. 新京成電鉄(株)との株式交換契約の締結について

- 目的：新京成電鉄(株)の完全子会社化（2022年9月1日予定）※



完全子会社化によるシナジー効果

- ・ 千葉県北西部における事業基盤強化および地域活性化
- ・ 経営資源の相互活用による競争力強化および事業規模の拡大
- ・ スケールメリットを活かした効率的な協働体制の実現

※新京成電鉄(株)の株主総会（2022年6月28日）における特別決議が前提

1. 2022年3月期 連結決算
2. 長期経営計画「Eプラン」総括
- 3. 2023年3月期 連結業績予想**
4. 参考資料

3-1. 業績予想の前提条件

■ 前提条件

● 全体

本年3月のまん延防止等重点措置終了以降回復基調が継続する
緊急事態宣言発出等による社会的制限は実施されない

● 成田空港輸送

本年12月迄に平年並みに回復する

● 定期外輸送（成田空港輸送除く）

平年並みを見込む

● 定期輸送

本年12月迄に平年の9割程度まで回復する

● その他

本年10月の北総鉄道等の運賃改定（値下げ）を見込む

3-2. 業績予想概要 (前期比較)

運輸業等の収支改善により、各段階で利益計上

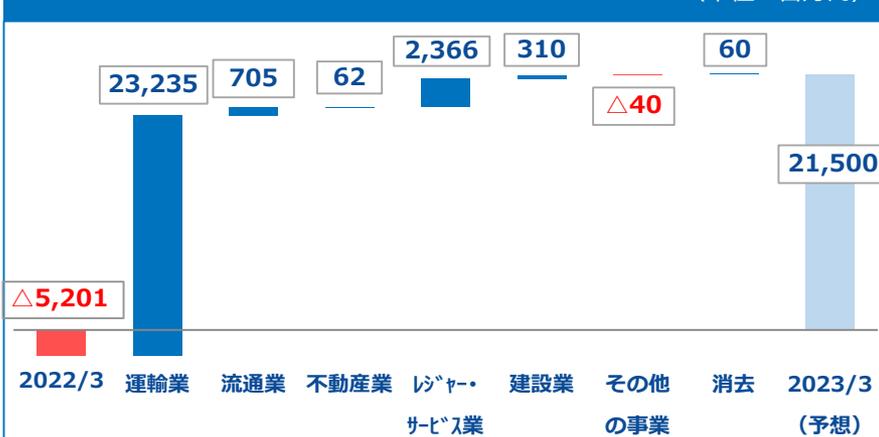
単位：百万円、%	2023/3 業績予想	2022/3 実績	増減	率
営業収益	272,200	214,157	58,042	27.1
営業利益	21,500	△5,201	26,701	-
(営業利益率)	7.9	-	-	-
経常利益	27,700	△3,191	30,891	-
持分法投資損益	7,400	508	6,891	1,354.3
親会社株主に帰属する当期純利益	18,700	△4,438	23,138	-
減価償却費	30,300	30,483	△183	△0.6
有利子負債残高※	375,900	382,266	△6,366	△1.7
EBITDA倍率(倍)※	7.3	15.4	△8.1pt	-

※EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)
 なお、有利子負債残高にはリース債務を含む

■ 営業収益増減 (セグメント別) (単位：百万円)



■ 営業利益増減 (セグメント別) (単位：百万円)



1. 2022年3月期 連結決算
2. Evolution Plan 総括
3. 2023年3月期 連結業績予想
4. **参考資料**

4-1. 業績概要 [損益計算書]

■ 連結損益計算書 (前々年比)

単位：百万円、%	2022/3 実績	2020/3 実績	増減	率
営業収益	214,157	274,796	△60,638	△22.1
営業利益	△5,201	28,320	△33,521	-
(営業利益率)	-	10.3	-	-
経常利益	△3,191	41,705	△44,897	-
持分法投資損益	508	13,950	△13,441	△96.4
親会社株主に帰属 する当期純利益	△4,438	30,110	△34,548	-
減価償却費	30,483	29,085	1,398	4.8

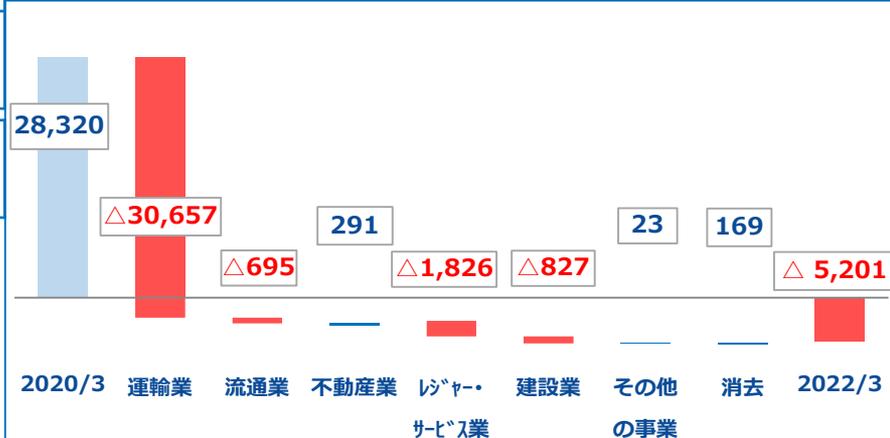
■ 営業収益増減 (セグメント別)

(単位：百万円)



■ 営業利益増減 (セグメント別)

(単位：百万円)



4-2. 2022年3月期 セグメント別業績（運輸業）

運輸業は全ての事業で増収となり、損失額が半減

単位：百万円、%	2022/3 実績	2021/3 実績	増減	率	増減要因	2020/3 実績	増減	率
営業収益	117,645	104,642	13,003	12.4		161,089	△43,443	△27.0
鉄道事業	55,256	49,627	5,628	11.3	移動需要の増	82,424	△27,168	△33.0
バス事業	39,005	33,546	5,458	16.3	〃	50,242	△11,237	△22.4
タクシー事業	23,384	21,467	1,917	8.9	〃	28,422	△5,037	△17.7
営業利益	△12,735	△25,677	12,941	-		17,921	△30,657	-
鉄道事業	△7,189	△11,985	4,795	-	費用コントロールにより 前期並みの営業費	14,744	△21,934	-
バス事業	△4,038	△10,003	5,965	-	〃	2,939	△6,977	-
タクシー事業	△1,508	△3,688	2,180	-	〃	237	△1,745	-

減価償却費	24,998	25,090	△92	△0.4
-------	--------	--------	-----	------

	24,222	775	3.2
--	--------	-----	-----

4-2. 2022年3月期 セグメント別業績 運輸成績[当社単体]

■ 輸送人員

単位： 千人、%	2022/3 実績	2021/3 実績	増減	率	2020/3 実績	増減	率
定期	135,961	132,427	3,534	2.7	173,808	△37,847	△21.8
定期外	89,353	76,287	13,066	17.1	119,014	△29,661	△24.9
合計	225,314	208,714	16,600	8.0	292,822	△67,508	△23.1

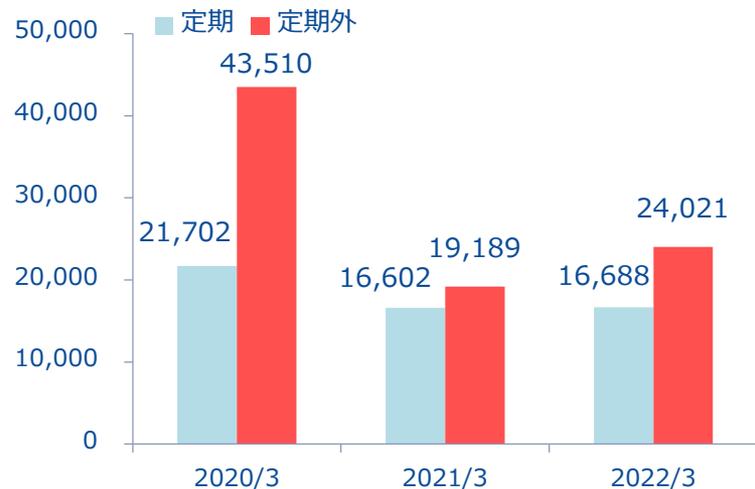
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位： 百万円、%	2022/3 実績	2021/3 実績	増減	率	2020/3 実績	増減	率
定期	16,688	16,602	86	0.5	21,702	△5,013	△23.1
定期外	24,021	19,189	4,832	25.2	43,510	△19,488	△44.8
合計	40,710	35,791	4,918	13.7	65,213	△24,502	△37.6

単位：百万円

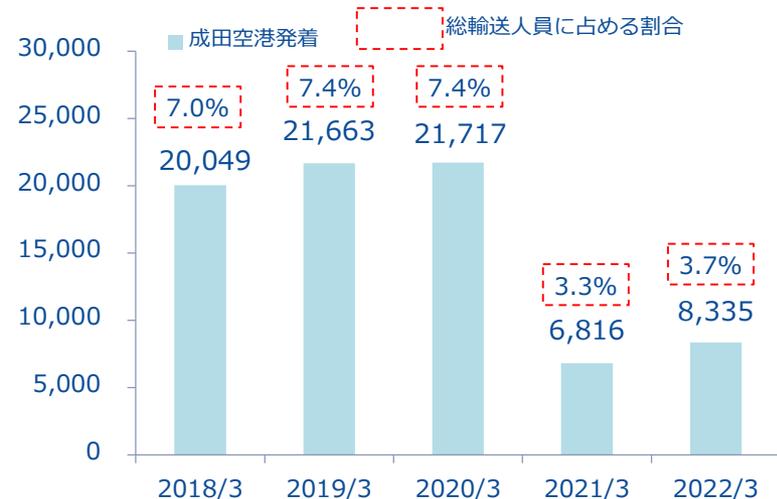


4-2. 2022年3月期 セグメント別業績 成田空港輸送成績[当社単体]

■ 輸送人員

単位：千人

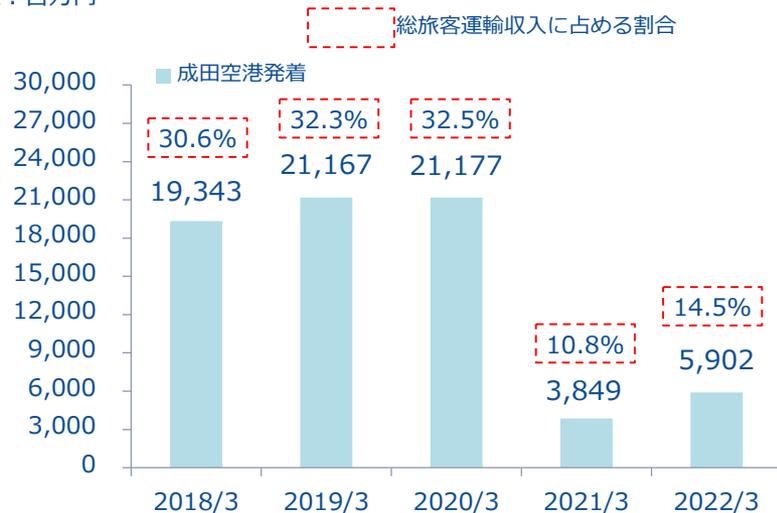
単位： 千人、%	2022/3 実績	2021/3 実績	増減	率	2020/3 実績	増減	率
成田空港 発着	8,335	6,816	1,519	22.3	21,717	△13,382	△61.6
有料特急	1,506	984	522	53.0	6,079	△4,573	△75.2



■ 旅客運輸収入

単位：百万円

単位： 百万円、%	2022/3 実績	2021/3 実績	増減	率	2020/3 実績	増減	率
成田空港 発着	5,902	3,849	2,053	53.3	21,177	△15,275	△72.1
有料特急	1,235	698	537	77.0	5,843	△4,608	△78.9



4-2. 2022年3月期 セグメント別業績（流通業）

「収益認識に関する会計基準」の影響、巣ごもり需要の反動減により減収減益

単位：百万円、%	2022/3 実績	2021/3 実績	増減	率	増減要因	2020/3 実績	増減	率
営業収益	47,441	61,185	△13,744	△22.5		68,321	△20,879	△30.6
ストア業	32,315	35,325	△3,009	△8.5	「収益認識に関する会計基準」 影響△46億円	37,425	△5,109	△13.7
百貨店業	10,209	21,276	△11,066	△52.0	「収益認識に関する会計基準」 影響△125億円	25,351	△15,142	△59.7
その他	4,916	4,584	332	7.2		5,544	△627	△11.3
営業利益	△305	△188	△117	-		389	△695	-
ストア業	62	289	△227	△78.6	※主な新店等 京成ストア 【リブレ京成】 ・松飛台店（2021年5月） ・千葉中央店（2021年10月）	245	△183	△74.8
百貨店業	△375	△381	5	-	コミュニティー京成 【ファミリーマート】 ・京成西船駅前店（2021年4月） ・Pasar幕張上り店（2022年2月） ・千葉ニュータウン中央東店 （2022年2月）	10	△385	-
その他	7	△97	104	-	・海浜幕張駅北口店（2022年3月） ・千葉問屋町店（2022年3月）	133	△125	△94.4
スーパーマー ケット店舗数 ※	23	22	1	-		20	3	-
コンビニエンス ストア店舗数 ※	62	57	5	-		53	9	-

マンション販売戸数の増により、増収増益

単位：百万円、%	2022/3 実績	2021/3 実績	増減	率	増減要因	2020/3 実績	増減	率
営業収益	27,420	24,429	2,990	12.2		24,648	2,772	11.2
貸 貸 業	15,423	14,682	740	5.0		13,786	1,636	11.9
販 売 業	8,155	6,140	2,015	32.8	分譲マンションの差異※	6,585	1,570	23.9
管 理 業	3,840	3,606	234	6.5		4,276	△435	△10.2
営業利益	8,737	8,492	245	2.9	※主な分譲マンション 2020年度 ・サングランデ八王子29戸 ・サングランデ本八幡25戸 2021年度 ・パークホームズ千葉119戸 (共同事業) ・サングランデ立石35戸 ・サングランデ八王子27戸	8,446	291	3.4
貸 貸 業	7,891	7,937	△45	△0.6		7,235	656	9.1
販 売 業	605	353	251	70.9		932	△327	△35.1
管 理 業	241	200	40	20.1		279	△38	△13.7
減価償却費	4,310	4,053	257	6.4		3,786	524	13.9
マンション 販売戸数(戸)※	181	54	127	-	99	82	-	

■レジャー・サービス業

単位：百万円、%	2022/3 実績	2021/3 実績	増減	率	増減要因	2020/3 実績	増減	率
営業収益	8,063	6,716	1,347	20.1	ホテル3店舗開業	10,524	△2,460	△23.4
営業利益	△1,966	△2,063	96	-		△140	△1,826	-

■建設業

単位：百万円、%	2022/3 実績	2021/3 実績	増減	率	増減要因	2020/3 実績	増減	率
営業収益	26,452	23,353	3,099	13.3	建築工事増	27,245	△793	△2.9
営業利益	789	1,166	△377	△32.3		1,617	△827	△51.2

■その他の事業

単位：百万円、%	2022/3 実績	2021/3 実績	増減	率	増減要因	2020/3 実績	増減	率
営業収益	7,861	8,364	△502	△6.0		9,977	△2,115	△21.2
営業利益	340	245	94	38.7		316	23	7.5

運輸業等の需要回復により、増収

単位：百万円、%	2023/3 業績予想	2022/3 実績	増減	率	2020/3 実績	増減	率
営業収益	272,200	214,157	58,042	27.1	274,796	△2,596	△0.9
運輸業	160,700	117,645	43,054	36.6	161,089	△389	△0.2
鉄道事業	76,500	55,256	21,243	38.4	82,424	△5,924	△7.2
バス事業	53,700	39,005	14,694	37.7	50,242	3,457	6.9
タクシー事業	30,500	23,384	7,115	30.4	28,422	2,077	7.3
流通業	51,700	47,441	4,258	9.0	68,321	△16,621	△24.3
不動産業	26,300	27,420	△1,120	△4.1	24,648	1,651	6.7
レジャー・サービス業	17,600	8,063	9,536	118.3	10,524	7,075	67.2
建設業	31,700	26,452	5,247	19.8	27,245	4,454	16.3
その他の事業	10,400	7,861	2,538	32.3	9,977	422	4.2

全てのセグメントで営業利益計上

単位：百万円、%	2023/3 業績予想	2022/3 実績	増減	率	2020/3 実績	増減	率
営業利益	21,500	△5,201	26,701	-	28,320	△6,820	△24.1
運輸業	10,500	△12,735	23,235	-	17,921	△7,421	△41.4
鉄道事業	7,600	△7,189	14,789	-	14,744	△7,144	△48.5
バス事業	2,300	△4,038	6,338	-	2,939	△639	△21.7
タクシー事業	600	△1,508	2,108	-	237	362	153.2
流通業	400	△305	705	-	389	10	2.7
不動産業	8,800	8,737	62	0.7	8,446	353	4.2
レジャー・サービス業	400	△1,966	2,366	-	△140	540	-
建設業	1,100	789	310	39.3	1,617	△517	△32.0
その他の事業	300	340	△40	△11.8	316	△16	△5.2

4-3. 2023年3月期 セグメント別業績予想（運輸業）

運輸業は全ての事業で増収となり、営業利益計上

単位：百万円、%	2023/3 業績予想	2022/3 実績	増減	率	増減要因	2020/3 実績	増減	率
営業収益	160,700	117,645	43,054	36.6		161,089	△389	△0.2
鉄道事業	76,500	55,256	21,243	38.4	移動需要の増	82,424	△5,924	△7.2
バス事業	53,700	39,005	14,694	37.7	〃	50,242	3,457	6.9
タクシー事業	30,500	23,384	7,115	30.4	〃	28,422	2,077	7.3
営業利益	10,500	△12,735	23,235	-		17,921	△7,421	△41.4
鉄道事業	7,600	△7,189	14,789	-		14,744	△7,144	△48.5
バス事業	2,300	△4,038	6,338	-		2,939	△639	△21.7
タクシー事業	600	△1,508	2,108	-		237	362	153.2
減価償却費	24,200	24,998	△798	△3.2		24,222	△22	△0.1

4-3. 2023年3月期 セグメント別業績予想 運輸成績[当社単体]

■ 輸送人員

単位： 千人、%	2023/3 業績予想	2022/3 実績	増減	率	2020/3 実績	増減	率
定期	156,590	135,961	20,629	15.2	173,808	△17,218	△9.9
定期外	115,719	89,353	26,366	29.5	119,014	△3,295	△2.8
合計	272,309	225,314	46,995	20.9	292,822	△20,513	△7.0

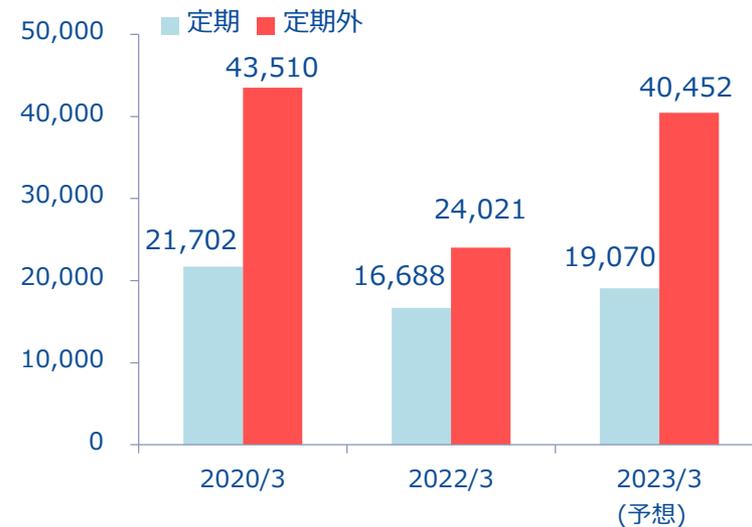
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位： 百万円、%	2023/3 業績予想	2022/3 実績	増減	率	2020/3 実績	増減	率
定期	19,070	16,688	2,381	14.3	21,702	△2,632	△12.1
定期外	40,452	24,021	16,431	68.4	43,510	△3,057	△7.0
合計	59,523	40,710	18,812	46.2	65,213	△5,689	△8.7

単位：百万円

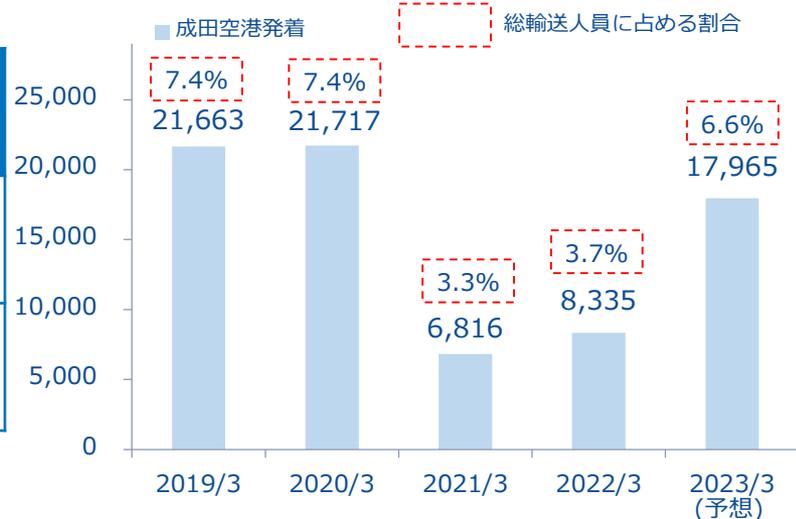


4-3. 2023年3月期 セグメント別業績予想 成田空港輸送成績[当社単体]

■ 輸送人員

単位：千人

単位： 千人、%	2023/3 業績予想	2022/3 実績	増減	率	2020/3 実績	増減	率
成田空港 発着	17,965	8,335	9,630	115.5	21,717	△3,752	△17.3
有料特急	5,240	1,506	3,734	247.9	6,079	△839	△13.8



■ 旅客運輸収入

単位：百万円

単位： 百万円、%	2023/3 業績予想	2022/3 実績	増減	率	2020/3 実績	増減	率
成田空港 発着	17,906	5,902	12,004	203.4	21,177	△3,270	△15.4
有料特急	5,146	1,235	3,911	316.7	5,843	△696	△11.9



4-3. 2023年3月期 セグメント別業績予想 (流通業)

ストア業の新店開業等により、増収増益

単位： 百万円、%	2023/3 業績予想	2022/3 実績	増減	率	増減要因	2020/3 実績	増減	率
営業収益	51,700	47,441	4,258	9.0		68,321	△16,621	△24.3
ストア業	34,200	32,315	1,884	5.8	前期開業店舗通期寄与	37,425	△3,225	△8.6
百貨店業	11,500	10,209	1,290	12.6		25,351	△13,851	△54.6
その他	6,000	4,916	1,083	22.0		5,544	455	8.2
営業利益	400	△305	705	-		389	10	2.7
ストア業	100	62	37	61.2		245	△145	△59.3
百貨店業	100	△375	475	-		10	89	858.1
その他	200	7	192	-		133	66	50.0

4-3. 2023年3月期 セグメント別業績予想（不動産業）

マンション販売戸数の減により、減収

単位：百万円、%	2023/3 業績予想	2022/3 実績	増減	率	増減要因	2020/3 実績	増減	率
営業収益	26,300	27,420	△1,120	△4.1		24,648	1,651	6.7
賃貸業	20,500	19,464	1,035	5.3		17,479	3,020	17.3
販売業	1,900	4,114	△2,214	△53.8	分譲マンションの差異※	2,892	△992	△34.3
管理業	3,900	3,840	59	1.5		4,276	△376	△8.8
営業利益	8,800	8,737	62	0.7	※主な分譲マンション 2021年度 ・パークホームズ千葉 119戸 （共同事業） ・サングランデ立石 35戸 ・サングランデ八王子 27戸 2022年度 ・パークホームズ千葉 134戸 （共同事業）	8,446	353	4.2
賃貸業	8,600	8,213	386	4.7		7,476	1,123	15.0
販売業	0	283	△283	△100.0		691	△691	△100.0
管理業	200	241	△41	△17.1		279	△79	△28.4
減価償却費	4,700	4,310	389	9.0		3,786	913	24.1
マンション 販売戸数（戸）※	134	181	△47	-	99	35	-	

（注）京成不動産㈱について、2023/3より内訳を販売業から賃貸業に変更しており、2020/3及び2022/3の数値を変更後の内訳に組み替えて比較しております。

■ レジャー・サービス業

単位： 百万円、%	2023/3 業績予想	2022/3 実績	増減	率	増減要因	2020/3 実績	増減	率
営業収益	17,600	8,063	9,536	118.3	前期開業ホテル通期寄与 旅行業の増	10,524	7,075	67.2
営業利益	400	△1,966	2,366	-		△140	540	-

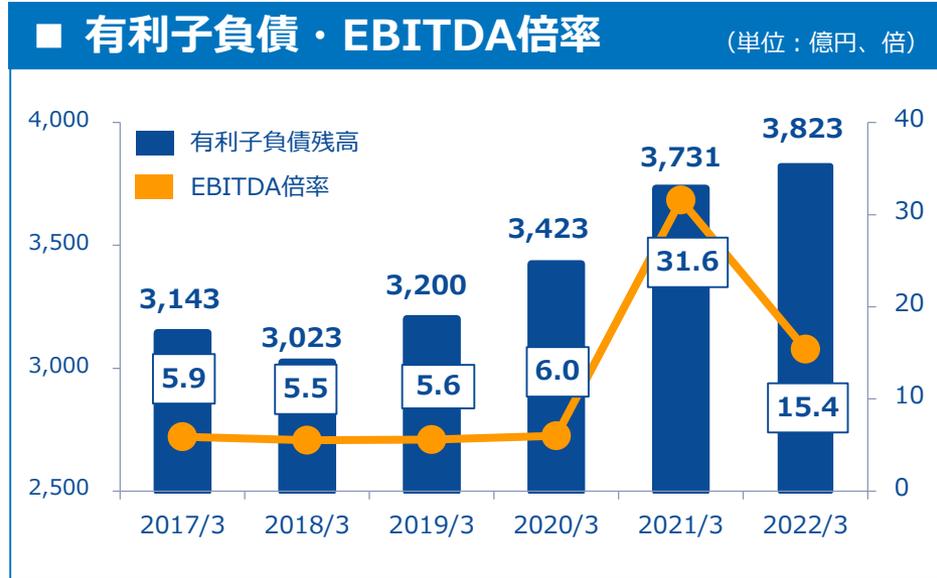
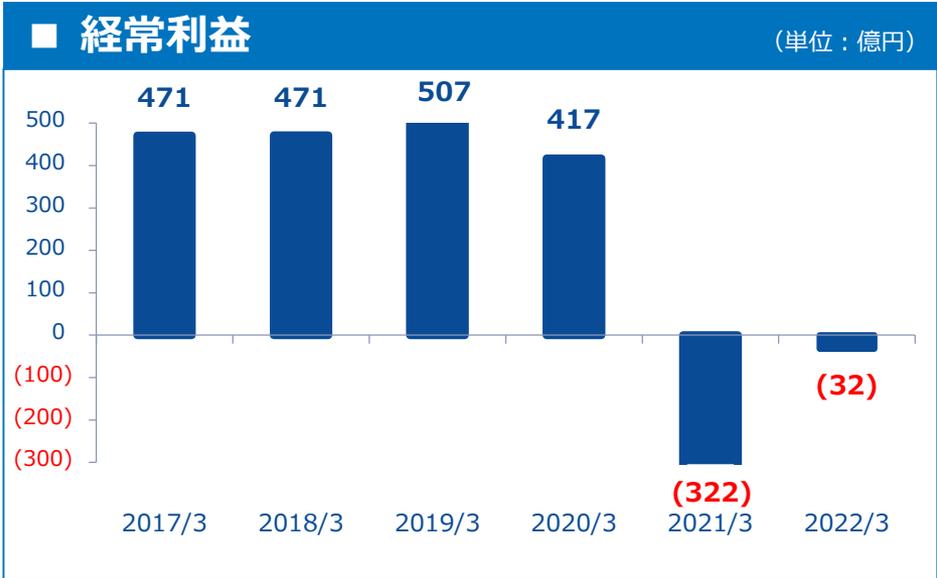
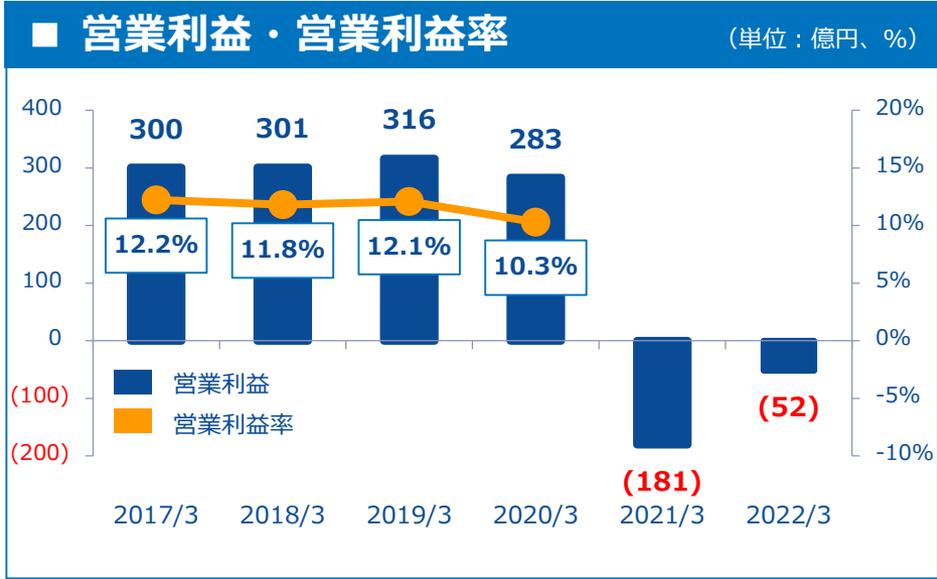
■ 建設業

単位： 百万円、%	2023/3 業績予想	2022/3 実績	増減	率	増減要因	2020/3 実績	増減	率
営業収益	31,700	26,452	5,247	19.8	建築工事増	27,245	4,454	16.3
営業利益	1,100	789	310	39.3		1,617	△517	△32.0

■ その他の事業

単位： 百万円、%	2023/3 業績予想	2022/3 実績	増減	率	増減要因	2020/3 実績	増減	率
営業収益	10,400	7,861	2,538	32.3		9,977	422	4.2
営業利益	300	340	△40	△11.8		316	△16	△5.2

4-4. 長期経営計画「Eプラン」 – 業績の推移



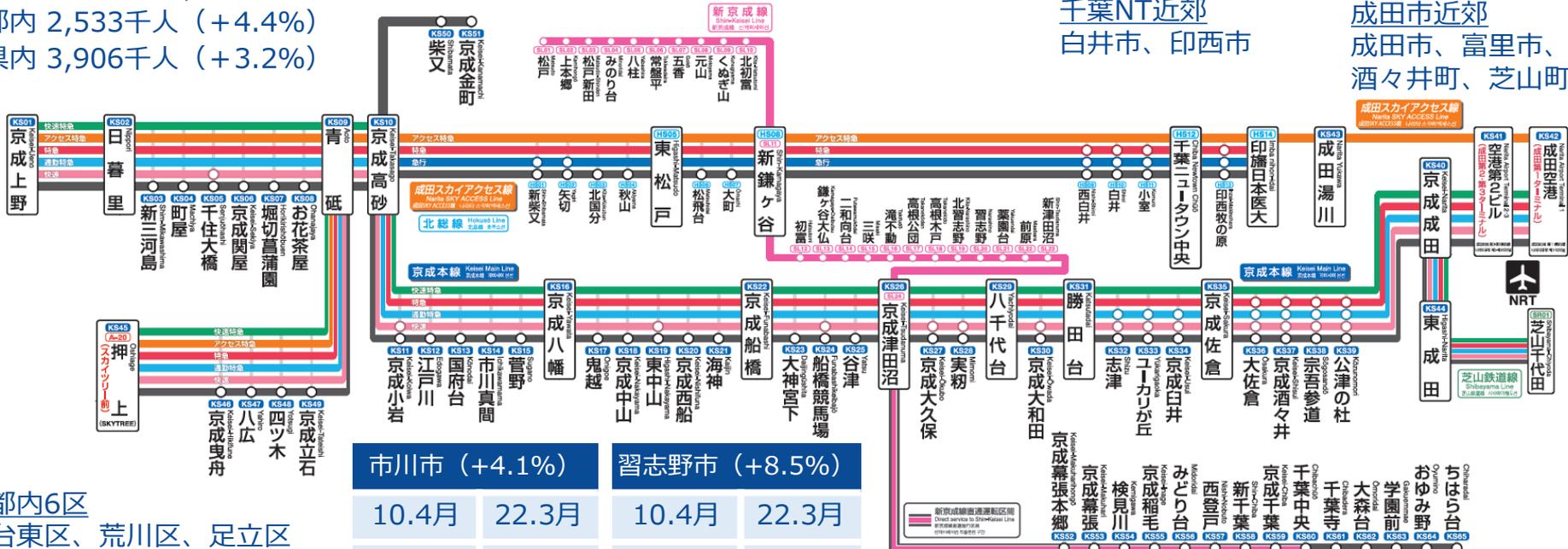
4-5. 沿線人口の推移

2022年3月、2010年4月（長期経営計画「Eプラン」初年度）比

単位：千人

京成エリア 東京都東部・千葉県
 営業距離 178.8km(当社、北総、新京成)
 駅数 101駅
 自治体数 都内6区、県内13市 2町
 沿線人口 6,439千人 (+3.7%)
 都内 2,533千人 (+4.4%)
 県内 3,906千人 (+3.2%)

松戸市 (+2.4%)		鎌ヶ谷市 (+2.7%)		千葉NT近郊 (+13.6%)		成田市近郊 (△0.3%)	
10.4月	22.3月	10.4月	22.3月	10.4月	22.3月	10.4月	22.3月
485	496	107	110	147	167	208	207



千葉NT近郊
白井市、印西市

成田市近郊
成田市、富里市、酒々井町、芝山町

都内6区
台東区、荒川区、足立区
葛飾区、江戸川区、墨田区

市川市 (+4.1%)		習志野市 (+8.5%)		船橋市 (+6.7%)		八千代市 (+6.6%)		佐倉市 (△3.3%)		千葉市 (+2.0%)		市原市 (△4.5%)	
10.4月	22.3月	10.4月	22.3月	10.4月	22.3月	10.4月	22.3月	10.4月	22.3月	10.4月	22.3月	10.4月	22.3月
476	495	162	176	604	644	189	201	172	167	958	976	279	267

数値は自治体公表値による

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。実際には様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。
<https://www.keisei.co.jp/keisei/ir/index.html>